

コープきんき事業連合は、コープしが・京都生協・ならコープ・よどがわ市民生協・おおさかバルコープ・いずみ市民生協・わかやま市民生協の近畿7生協を会員とする生活協同組合連合会です。

第19回通常総会を開催



小池理事長より開会挨拶



大島専務理事より議案提案と討議のまとめを報告

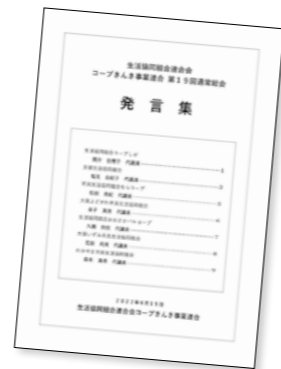
2022年6月15日(水)午後1時より、ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンターにおいて、生活協同組合連合会コープきんき事業連合第19回通常総会を開催しました。

会員生協から代議員54名(本人出席8名、書面出席46名)の出席があり、採決の結果、第1号から第3号まですべての議案が賛成多数で可決されました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、規模を縮小しての開催となりましたが、大阪府の吉村洋文知事をはじめ、近畿2府3県の知事の皆さま、多くの方々より祝電・メッセージを頂戴いたしました。

会員生協代議員からは事前に文書で発言が寄せられました

- コープしが代議員 筒井 佳理子さん 「コープきんきに期待すること」
- 京都生協代議員 塩見 由紀子さん 「組合員のふだんの暮らしに寄り添うコープきんきに」
- ならコープ代議員 松田 美紀さん 「社会の大きな変化に対応し、協同と連帯の力で乗りこえていきましょう!」
- 大阪よどがわ市民生協代議員 金子 真佳さん 「よどがわ市民生協の取り組みとコープきんきへの期待」
- おおさかバルコープ代議員 久瀬 快枝さん 「おおさかバルコープの今とコープきんきへの期待」
- 大阪いずみ市民生協代議員 花田 尚実さん 「コープきんき事業連合に期待すること」
- わかやま市民生協代議員 鈴木 真希さん 「分野別課題の振り返りから期待する事」



採決結果

議案	反対	保留	賛成
第1号議案 2021年度事業報告、決算報告・剰余金処分案承認の件	0人	0人	多数
第2号議案 2022年度事業計画・収支予算決定の件	0人	0人	多数
第3号議案 役員報酬決定の件	0人	0人	多数



「2022年品質保証レポート」を発行
コープきんきが取り組む「安全・安心」と「組合員の声にこたえる」活動を紹介していきます。

コープきんきホームページに掲載しています

コープきんき

※商品検査の判定はコープきんきの自主基準に基づいて行っています。基準外であっても商品の安全性に問題はありません。新規取扱品検査において基準外になった商品は企画を取り止めています。流通取扱品検査において基準外になった商品は、原因調査と対策を確認しています。放射性物質検査では、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも、検出限界を超えるものはありませんでした。(検出限界:一般食品25Bq/kg、牛乳・水・茶1Bq/kg)



2022年度 第1四半期 商品検査実施状況

検査区分	検査品目	基準外		
		数	割合	
新規商品検査	微生物 (NB品)	385	0	
	食品添加物 (NB品)	200	0	
	微生物 (CO・OP商品)	448	0	
	微生物 (NB品)	1,503	4	
	ヒスタミン	0	0	
	残留農薬 (輸入加工品)	21	0	
	品種判別 (DNA)	0	0	
	動物用医薬品	0	0	
	アレルギー	36	1	
	事前検査等	残留放射性物質	19	0
	残留農薬 (農産品)	59	0	
店舗	新規商品検査	微生物 (NB品)	88	1
		食品添加物 (NB品)	0	0
	流通品検査	微生物 (NB品)	69	3
合計		2,828	9	

商品検査センターの検査結果報告
コープきんきでは、生協で取り扱う商品に対する組合員の信頼にこたえるために、自主基準に基づいて商品検査を行っています。
2022年度第1四半期は、2,828品目(3,717検体)について検査を実施しました。

コープきんき共同開発新商品(CO・OP商品)

現行品をベースによりだしのきいたつゆになり、旨みと香りがアップしました。キャップシュリンクを削減する事で商品1個あたり石油由来プラスチックを0.2g削減しました。



そうめんつゆ ストレート
300ml×2本 通常価格
本体278円 (税込300円)

大きめの台湾産さんまを開いて打ち粉を付けて油調、蒸した後に甘めのタレで4度焼きしました。特許取得の製造工程により、ふくらした食感に仕上げました。



レンジで!!ふくらさんま蒲焼
160g(2枚) 通常価格
本体398円 (税込430円)

コープきんきオリジナル開発新商品

宮崎県産グレープフルーツのストレート果汁を、低アルコール度数の飲みやすいサワーカクテルに。



宮崎県産グレープフルーツ サワーカクテル
リキュール(発泡性) (アルコール度数3%) 通常価格
350ml 本体138円 (税込152円)

宅配事業では、組合員のくらしの変化に対応するため、内食・手作りから簡便・時短食材へのシフトをすすめました。また、商品の価値訴求の強化に取り組み、生協ならではの商品構成、収益性の向上をめざしてCO・OP商品の利用拡大、EDLP(いつでもおトク)商品比率の引き上げをすすめました。

インターネットの利用推進では、登録者数利用人数がコロナ禍でのデジタル化の浸透により増加し、eフレックス通過供給高は年度末で前年比110.8%と伸長しました。第4期インターネット基盤での機能・売場改善とともに、宅配カタログ紙面とeフレックスの連携による特集コンテンツを拡大しました。スマートフォン向け注文アプリ「ニコリエ」は、若年層の利用者が増加しました。

テレビCMやWeb広告などの共同宣伝、新規加入者の定着をめざす利用定着プログラムの構築を会員生協と連携してすすめました。今後の広報・価値発信の方向性について会員生協と協議を開始しました。

2021年度 宅配事業実績(会員生協実績)

コープきんき共通企画			
	21年度実績	予算比(差)	前年比(差)
供給高 (百万円)	174,293	103.8%	96.9%
粗利益高 (百万円)	49,802	104.1%	96.6%
粗利益率 (%)	28.57%	+0.06%	▲0.08%
世帯利用高 (円)	4,595	+136	▲147

2021年度コープきんき共通企画の組合員供給高は1,742億円となり、予算を64億円上回りました。コロナ禍が続いたことで、利用人数、世帯利用高ともに計画を上回りましたが、前年からは後退しました。組合員一人当たりの世帯利用高4,595円となり、予算差+136円、前年差▲147円となりました。粗利益率(GPR)は28.57%で、予算を0.06%上回りました。

損益計算書 (単位:百万円)

	2021年度実績	予算比	前年比
供給高	152,442	100.3%	94.4%
宅配食品事業	98,404	98.8%	93.4%
宅配家庭用品事業	24,620	101.4%	93.1%
店舗事業	16,016	103.7%	99.4%
ギフト事業	3,078	106.8%	101.9%
通販事業	10,324	105.6%	97.5%
供給剰余金	4,916	99.5%	91.9%
事業総剰余金	8,546	102.1%	97.3%
事業経費	7,386	93.5%	99.1%
経常剰余金	1,174	231.2%	81.8%

2021年度コープきんきの供給高は1,524億4,200万円で、予算を達成しました。経常剰余金は11億7,400万円で、予算を大幅に超過しました。

貸借対照表 (単位:百万円)

[流動資産]	32,018	流動負債	28,474
		固定負債	233
		[負債合計]	28,708
		会員出資金	726
		剰余金	4,003
[固定資産]	1,419	[純資産合計]	4,729
資産合計	33,437	負債・純資産合計	33,437

剰余金処分

I. 当期末処分剰余金	13億5,639万円
II. 任意積立金取崩額	
1. 中計初年度販売促進強化積立金 2億円	15億5,639万円
III. 剰余金処分額	
1. 利用分量割戻金 10億493万円	
2. システム開発積立金 1億9,945万円	
3. 重大事故対応積立金 1,657万円	12億2,096万円
IV. 次期繰越剰余金	3億3,543万円

※利用分量割戻金は2021年3月21日～2022年3月20日の期間における食品事業・家庭用品事業・ギフト事業・通販事業の7会員生協へのコープきんき供給高の0.751%です。
※次期繰越剰余金には、生協法第51条の4第4項に定められた教育事業等繰越金6,000万円を含んでいます。

2022年度は第7次中期計画の2年目となります。第7次中期計画初年度の到達を踏まえた2022年度の位置づけ及び重点課題、損益予算は次のとおりです。

2022年度事業計画

- 2022年度の位置づけ
- 第7次中期計画の2年目課題の遂行と2023年度着地目標とプロセスを明確にする年
 - アフターコロナの時代の消費をリードする課題深耕チャレンジの年
 - より効率性と効果性のある事業を推進する年
 - コープきんきと会員7生協のブランド強化の年をすすめる、営業支援を展開します
- 2022年度基本方針4つの重点課題
- CO・OP商品・オリジナル商品の開発とブラッシュアップにより組合員利用を高めます
 - 価格コントロールと媒体・売場の適正な配置で会員事業に貢献します
 - インターネット活用の推進によりWeb企画・カタログの改善と業務の効率化をすすめます
 - CO2排出削減やエシカル消費、社会貢献活動について会員生協と協力しながら取り組みます

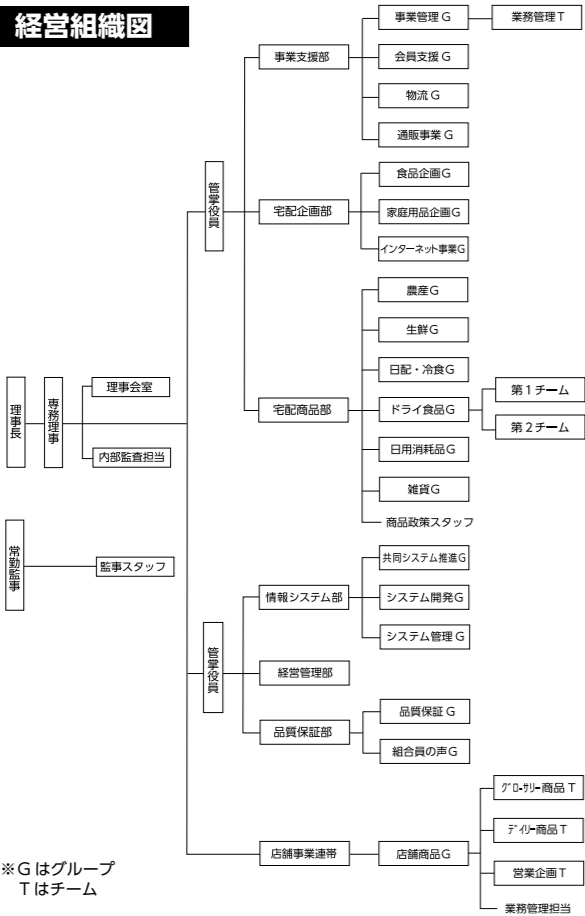
2022年度 損益予算 (単位:百万円)

	2022年度予算	前年比
供給高	121,688	79.8%
宅配食品事業	95,342	96.9%
宅配家庭用品事業	23,285	94.6%
店舗事業	0	0.0%
ギフト事業	3,060	99.4%
通販事業	0	0.0%
事業総剰余金	10,258	120.0%
事業経費	9,716	131.6%
経常剰余金	550	46.8%

2022年度コープきんきの供給高は1,216億8,800万円、経常剰余金は5億5,000万円をめざします。

※2022年度より、収益認識に関する会計基準を適用した供給予算となります。コープきんきでは店舗事業および通販事業を代理人取引とし、供給予算を0とします。

経営組織図



業務執行体制

- 理事長 小池 隆博
専務理事 大島 芳和
常務理事 本多 敬
常務理事 大寺 良孝
常勤監事 西村 幸久
執行役員 生熊 康博
執行役員 吉田 実
理事室 統括
事業支援部 統括(兼務)
- 情報システム部、経営管理部、品質保証部 統括
店舗事業連帯、理事会室、内部監査担当 統括
宅配企画部、宅配商品部 統括

商品政策を一部改定しました

5月26日(木)に開催した第6回理事会において「コープきんき事業連合 宅配事業 商品政策」を改定し、新たに「社会的道義的問題への対応について」を追加しました。

社会的道義的問題への対応について

【目的】

コープきんきは、生活協同組合の基本理念として、平等、公正、正直(誠実)、公開、社会的責任、そして他人への配慮といった価値を大切にしておき、人権尊重の取り組み推進はコープきんきの理念と合致します。本方針について、コープきんき自身が実践していくとともに、お取引先などのステークホルダーに対してお知らせし、ともに人権尊重の取り組みをすすめるよう呼びかけます。

【対応の考え方】

- 1、人権の尊重と保護については国際規範に準拠します。
- 2、全ての人の人権侵害に負担をせず、多様性を尊重します。
- 3、児童労働、強制労働を禁止します。結社の自由を尊重し、労働環境の安全衛生に配慮します。
- 4、腐敗防止と公正な取引をすすめます。



コープきんきホームページに掲載しています

コープきんき なないろサラダ 検索